

令和8年度 第1回 久留米市食料・農業・農村政策審議会 議事録

日 時:令和8年7月27日(月) 14時00分～16時00分

場 所:職員会館メルクス 3階大会議室

出席者:15名

福田会長、吉永副会長、國武委員、梶山委員、永松委員、野村委員、古賀委員、
中村美紗委員、田中委員、伊藤委員、久保委員、中山委員、高良委員、矢次委員、
大津留委員

欠席者:4名

中村正寛委員、行徳委員、小川委員、橋本委員

事務局:農政部 大野部長、井上次長、樋之口流通担当次長

農政課 戸上課長、池田主幹、池上課長補佐、松岡主査、権藤

農業の魅力促進課 河野課長 生産流通課 木下課長

農村森林整備課 津川課長、塚本主幹、永田主幹

農業委員会事務局 矢野事務局長

田主丸総合支所産業振興課 林田課長 北野総合支所産業振興課 白谷課長

城島総合支所産業振興課 庄村課長補佐 三潁総合支所産業振興課 樋口課長

一般財団法人 久留米市みどりの里づくり推進機構 半田専務理事、木下事務局長

傍聴者:なし

次 第: 1 部長挨拶

2 委嘱状交付

3 委員紹介

4 会長・副会長の選任

5 審議事項

(1)第3期食料・農業・農村基本計画 総括

(2)第4期食料・農業・農村基本計画 令和8年度実施計画

1 部長挨拶

農政部長	挨拶
------	----

2 委嘱状交付

事務局	委嘱状を机上に配付の旨案内
-----	---------------

3 委員紹介

各委員	自己紹介
-----	------

4 会長・副会長の選任

事務局	事務局案を提示(会長 福田委員 副会長 吉永委員) 全員一致で承認 会長、副会長挨拶
-----	--

5 審議事項

(1)第3期食料・農業・農村基本計画 総括

事務局	【「資料1 第3期久留米市食料・農業・農村基本計画 総括」に基づき説明】
会長	施策の評価がCであるものは、これまで施策を行ってきた中で基準値を下回っており効果が出ていないということ。コロナ禍という影響はあったと思うが、それをどう克服してきたのか、担当セクションとしてどうだったのか。
事務局	例えば、経営開始5年目の収入1千万円以上の指標についてであるが、独立自営就農は資金面や農地の取得、技術の習得などが難しい。また、資材高騰等の影響があり、規模拡大が想定通りにできなかった。これまでの審議会で、指標が収入でよいのか、経費を差し引いて残った所得を見た方がいいのではないか、などの意見があったので、第4期計画では指標の見直しも行った。
A 委員	他の産業ではコロナ禍を乗り越えつつあり、商店街にも人が戻ってきている。一方、泊まらん農などは市民参加ができておらず、C評価である。
B 委員	6ページの目標項目、認定農業者数について、農業者が減っていく中で、数を増やす目標はどうなのか。法人経営が増えている中で、目標項目の見直しをしたほうがいいのではないかと。
事務局	農業従事者は、この10年で約4割減少している。第3期計画期間は認定農業者の数を増やす目標としたが、現実には微減であった。一方で、個人経営からの法人化数は増えている。第4期計画では見直しをしている。

B 委員	人数でなく、率で示したほうがよいと思う。
	(原案のとおり承認)

(2)第4期 食料・農業・農村基本計画 令和8年度実施計画

事務局	【概要版、「資料2 第4期久留米市食料・農業・農村基本計画 令和8年度実施計画】」に基づき説明】
C 委員	この酷暑の中、大豆を20日くらい前に播種した。雨が降らないので葉がしおれている。あと2週間雨が降らなければダメになる。昨年度、将来的な農業について話し合う地域計画の座談会に農事組合長として参加し、畔を除去すると補助金が出るなどの有意義な話があったが、開催は一回だけだった。そのときに、井戸を30か所掘ってほしいと発言した。世界を見ると渇水の時代であり、水がなければ野菜も育たない。自分のレタスも昨日播種し、盆前に植え付けて9月に収穫予定であるが、このままでは厳しい。これ以上経費は削減できない。価格が高いものをどう売るかというように、安定した価格を考えなければならない。手数料を減らしてでも量をこなしていくようにもっていかないといけない。
事務局	座談会は毎年継続して実施し、地域の声を聴いている。希望される回数は開催できていないかもしれないが、新たな農業委員や推進委員と協力して実施していきたい。
C 委員	農業体験事業について、作物の播種から収穫までで年度をまたぐ場合がある。スイートコーンの収穫が6月なので、その時期に来てほしいが、播種が2月なので、年度をまたぐことになる。開催を前期後期に分けるなど、工夫してもらえないか。
事務局	今年度のくる農は、7月15日から受付開始し、2月頃までのメニューとなっている。過去には春の部と後半の部で実施していた時期もある。検討したい。
D 委員	農地パトロールの実施について、9月4日に三潴で中学生を招いて一緒に実施する。去年も三潴だけそのように実施した。パトロールをしていると、「なぜこんなに荒れているのか」と中学生から質問が出る。遊休農地があると農業に支障があるという説明をした。三潴町だけでなく、他の地域も中学生と一緒にぜひ実施してもらいたい。農業委員会だけでなく、農政部でも働きかけてほしい。
事務局	農地パトロールは、中学生の職場体験の日程と合わせて実施している。荒れた農地を目の当たりにして、これではいけないと中学生に思ってもらえる機会になる。農家の子もいる中で、将来自分たちがどうにかしなければいけないという考えに繋がっていく。三潴では中学生の職場体験を活用しているが、全庁的に展開できるかどうかは考える必要がある。

E 委員	16ページ最下段の学校給食への導入支援は、学校給食で多くの子どもたちと地元野菜が繋がる機会となる。我々も地域と繋がりたいという思いでやっている。しかし現状は担い手不足であり、人件費や経費も上昇し、それを全て個人の経営の中で負担していかないといけない。栽培に注力できなくなってくるので、青年部としては内容の見直しをしていきたい。中止するのは簡単だが、再開は簡単ではないと思っている。 基本施策Ⅲ 持続可能な生産基盤の維持・確保について。高良内町では宅地開発が進んでいる。住宅建設が進み、農業への理解がないため、昔から使用していた鶏糞などの堆肥が使用できなくなっている。警察への通報や、焼却による煙で消防車を呼ばれたり、鶏糞の臭いでクリーニング代を請求されたりしている。農業は、人間が生活するためのライフラインを維持する仕事だと思っているが、飽食、利便性の時代でそれが忘れ去られ、食に携わる人への扱いが雑になっているようだ。収入の面でも低い。生産から流通、調理して人の口に入るまでをワンセットで考えないと農業の維持は難しくなる。生産者の顔が見えるような情報発信も臨機応変にしていける必要があると考えている。
事務局	農家にとって、堆肥、土づくりはとても大事だと共感する。臭いの問題は、移住してきた人にどこまで理解してもらえるのか、互いに状況を話して理解し合っていくことが大事だと思う。
F 委員	資料1の5ページの第4期に向けての3段落目。これが現実になることを望むが、令和8年度実施計画にどのように展開されているのかを見ると、明確な記載はなく予算も付いてないように見える。魅力発信や道の駅の機能強化あたりが該当する箇所なのかなと思うが、関係人口を増やし地域活性化に繋がる取組みの推進となると、また、他部署との連携が入ってくると、具体的に何をすることが見えにくくなっている。今年度の予定は。
事務局	限られた予算の中で工夫しながら取組みを検討し進めている。具体的には、観光の分野と関係部局で副市長をトップとした組織で意見交換をしている。次年度取組みに少し出てくるかもしれないという状況。本年度は、道の駅くるめを中心とした情報発信の機能強化を、予算の中で工夫して考えていきたい。
F 委員	来年度に向けた動きを今年度しないと具体的な形にならないので、ぜひしてほしい。
G 委員	矢次委員と同じ意見。第4期の具体的計画を見ると「うーん」となる。体験や実際の農業を見てもらうなど、モデルケースとして小さく始めて、反応を見ながらだんだん大きくしていくようにしてはどうか。トライ＆エラーで改善していけばよいと思う。

B 委員	17ページの体験交流促進対策事業について、JAが合併して久留米、田主丸、北野は1つになったが、城島と三潞はまだ分かれている。地域で学童農園や体験の格差が出ている。西国分小では体験がなくなっている。元々は米作りをしていたが、さつまいもなど色んな体験をしている。今ではサービス業のような状態で、先に機械で芋を掘って並べて、拾うだけの「芋拾い」になってしまっている。台風でキャンセルになった学校もある。市全体でやり方を統一するなど、レベルを合わせるべきではないか。学童農園の目標指標もある状態で、どのように体験格差をなくすのか。ここ数年で完全にやめてしまった学校が気になる。以前はバケツ苗やペットボトルの活用もしていた。教育としての指標も考えてほしい。
事務局	学校によって体験の差があるのは事実。JAによっても違いがある。JA福岡くるめのくるめ地区は青年部で取り組んでいる。田主丸、北野、城島、三潞は学校ごとに協議会を作って、地域の農業者に協力してもらっている。西国分では校区コミセンが中心となって、小規模ながらやっている。指標的なものはなく、今後検討したい。
H 委員	8ページ以降の担い手の育成について、新規就農者の自主活動グループの支援などしているが、既に稼げる農業を実践している農業者への支援はあるか。ハード面での支援は県を含めて力が入っているが、企業の経営をして久留米市の農業をけん引している人に向けたソフト面での支援があるか。農業従事者は減少する一方で、売り上げ3千万円以上の農業経営体の割合は増えている。それらの農業者がさらに伸びていく必要がある。既に稼いでいる農業者でも、雇用をどうするか、経費を削れないかなど、課題はある。法人化が答えではないケースもある。JAなどで取り扱う農業近代化資金が拡充されると聞いており、今後制度資金利用者が増加することも想定される。ソフト面支援の一例として、制度資金借入に必要な経営改善資金計画の作成を支援する、そのために専門家を派遣するなど、何らかの支援を考えているか。
事務局	8ページの1番上、認定農業者の認定の事務をしている。外部の方の意見を聴く場面はないが、県やJAの職員も同席して、5年間の計画の作成を支援している。認定農業者からは、農地の問題、雇用の問題など様々な課題を聞いている。雇用を希望する農業者向けに、10ページの障害者雇用、外国人受入などをテーマに研修会をしている。
H 委員	企業型経営の人に向けた支援があるとよい。
I 委員	ふくおか体験・教育旅行協議会では、7月31日から2泊3日で農業体験を行う。福岡県内で25名の募集に対して26名集まっている。竹野の土石流発生から丸3年が経過した。農業体験では、森林組合の講義や、イス作り、筑後川の漁業者の元での体験、地域活性化の遊びに取り組む。実

	施する際の資金が不足し、協賛もなかなかしてもらえない。酷暑で保護者も心配し、熱中症対策について問い合わせがある。受け入れる側の人間も不足している。5月に久留米市で後援をもらおうとしたが、一か月かかるとのことで、間に合わなかった。うきは市は3日でできた。久留米市の後援がないとチラシを置けない施設もあった。様々なところに協議会、体験の場を作してほしい。
事務局	(チラシを提示しながら)久留米市及び教育委員会の後援があれば置ける場所が増えるが間に合わなかったとのこと。農業の魅力促進課にはチラシを置いている。耳納グリーンツーリズム協議会もあって、耳納北麓での体験が多い。協議会のノウハウを知らせるセミナーなどがあると、やってみようかという人も出てくるのではないかな。
J 委員	北野町で農業をしており、補助事業を活用している。補助金の情報も含め、農家同士の情報交換が密である。他地域の農業者から、補助金について聞かれ、北野のことなら教えられるが、他地域のことはわからない。そのような情報が広がればいいと思う。 園芸農業DX農業事業について、スマート農業と言いが、定義が難しい。国のスマート農業実証事業を3法人で取り組んだ。その時のハード機械は、今は当たり前になっている。ソフト面も導入したが、当時1千万、今は100万円、下手したら10万、20万円で作れる。外部委託よりも自社で完結するのが当たり前になってきている。DX 推進事業はハード面だけでなく、ソフト面でも支援が必要だと思う。 北野町は水害に悩まされてきた。3～4年前、県の中間管理機構の協力を得て、朝倉市に第2拠点を設けることができた。久留米市でもそのような取組みがあれば教えてほしい。
事務局	久留米市農業経営支援活用ガイドができたので活用してほしい。久留米市のホームページで公開している。 園芸農業DXについて、ソフト開発は対象でない。県と意見交換しながら要望を上げていきたい。
事務局	中間管理機構を通じた事業が朝倉で実施されているのは承知している。久留米市では大規模な空き農地がなく、同じような事業は進んでいない。今後担い手が減っていくなかで、大規模化や大区画化は必要だと思っている。また、農政部で「農スタグラムくるめ」のアカウント名でインスタグラムを開設しているので、フォローしていただきたい。
B 委員	北野の大規模農家などに、他県や他地域の行政からの誘致の話が非常に多い。自身は、観光農園にいい場所であればと思う。北野地域は空き農地がない珍しい地域。茨城県の方と一緒に北野の伊藤委員のところに行ったことがある。市内でJA 単位で分断されている感じがしており、久

	留米市内での農家同士の交流があまりない。全国的に見ても先進的な農業経営体があるので、相互行き来があるといいのではないか。JA単組が異なるので、行政が主体で勉強会の場があると嬉しい。
K 委員	持続的発展のためには、地域計画が肝になると思う。どこの市町村も現状と目標地図が同じであることが多いが、高齢化も進み、早く目標地図の明確化をしていってほしい。協議の場の活性化が必要だと感じる。県も一緒にやっていきたい。
事務局	県の力も借りながら進めていきたい。
	(原案のとおり承認)

6 その他

事務局	【配付リーフレット「男女共同参画のすすめ」の説明】
-----	---------------------------

16:00 終了